

チュートリアル課題 熱がさがらない。

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-07-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/31203

2011年度 Block. 6

課 題 No.3

課題名：熱がさがらない。

課題作成者：小児科学

平澤恭子

シート1

祐介くんは5歳のお誕生日を迎えたばかりです。いつもは元気いっぱいでお友達とよくあそびまわっています。2日前から熱がありましたが、食欲はあったので、風邪かと思い家にあった解熱剤を使って様子を見ていました。今日は朝から元気がなく、食欲もなく、機嫌もわるくてお母さんも心配になりかかりつけの近所の小児科につれていきました。

シート2

いつもは妹の浩美ちゃんのことによく病院にいきますが、祐介君はあまり小児科の受診をしたことはありませんでした。

先生は今までの発達や成長、また今までかかった病気、予防接種歴などをそれまでの記録と母子手帳を見ながら確認した後、診察をし、「少し喉があかくて、頸部のリンパ腺がはれています。のどに菌がついたせいでしょう。薬を出すので様子を見てください。」と書いて処方箋をかいてくれました。

「先生、この子はこんなに高い熱が続いたことがないんです。大丈夫でしょうか？」と心配そうです。

シート3

家に帰ってさっそくお薬を飲ませようとしたのですが、祐介君は嫌がってなかなか飲まないのです。お母さんは大変苦労しました。次の日になっても熱はさがらず、祐介君は首をさわると痛がって激しく泣くようになりました。お母さんが見てみると昨日よりもさらに腫れているのがわかりました。また体に赤いぶつぶつも出てきているのに気付きました。

お母さんはもう一度同じ小児科を受診をしました。

先生は丁寧に診察をしたあとに、「これは大きな病院できちんと治療をしたほうがよいでしょう。」といい、電話で大学病院に電話をした後紹介状を書いてくれました。

紹介先の病院は大変混んでいましたが、受付をするとすぐに一般待合室とは違う小さな部屋に案内されそこで待つようにいわれました。

シート4

お母さんは問診票を記入して待っていると間もなく、先生がきていろいろ今までの病気や予防接種の施行状況など、また発熱してからの祐介君の様子も細かく聞かれました。祐介君の診察では洋服を脱がせて発疹の状況なども細かくみてくれました。診察が終わると先生は血液検査や入院の必要性を説明してくれました。入院ときいてお母さんは祐介君の病気が重いのだと思いとても心配になるとともに、近所の人に頼んでみてもらっている妹の浩美さんをどうしようなどいろいろなことが頭によぎり、とても不安になりました。

シート5

祐介君の診察所見です。

体重 18kg 身長 120cm 頭囲50cm 胸囲49cm

体温39.2度 心拍数120/min 呼吸数 25/min

不機嫌で泣き叫び、話しかけても、母にしがみついでいて返事はない。

項部硬直なし 頸部右側に拇指頭大リンパ節2個 左側も同様のものを2個ふれ触ると嫌がる。

口唇乾燥 赤い。 体幹に紅斑

心音 心雑音なし、呼吸音異常なし

腹部 緊張低下あり 肝臓1cm 触知 脾臓触れず

眼球結膜 発赤 咽頭発赤著明、舌 赤くぶつぶつしている。

シート6

入院して、検査の結果などがでると医師は川崎病という病気の説明をしてくれました。初めて聞く病名で、また薬もお母さんにはよくわからず、とても不安でした。また、お母さんは妹の浩美ちゃんにうつらないかということも気がかりでした。治療を始めると熱が下がってきて日に日に元気になっていったので少しずつ安心できるようになりました。

退院も決まりましたが、定期的に通院して検査が必要といわれたので今後はどんな心配があるのかと気になっています。